

## 足をお大事に。。

昨年末にやらかしてしまいましたΣ(´ε`;)||  
昼休みにみんなで楽しくサッカーをしていたはず  
が、帰ってきたときには大根足に大変  
身！！!(;´Д`A

救急車で病院に  
運ばれ、「ひどい肉  
離れ」と診断され、ギ  
プスと松葉杖を装備  
させていただきました  
(笑)



このケガのおかげ  
で??、人の優しさというものを改めて感じまし  
た。松葉杖をついて電車やバスに乗ると、席を  
譲ってくれたり、乗り降りの際に通路を広く開  
けてくれたり、エレベーターでも先に乗せてくれ  
たり、ドアを開けてくれたり、小さなやさしさが本  
当に心にしみました。

研究室のみなさんにもとても感謝しています。  
特に、一緒にサッカーをしていた方々、ご迷惑を  
おかけしましたm(。≥▽≤。)m 怪我をしたとき  
にお世話になっただけでなく、ドアを開けてくれ  
たり、いろんなものを運んでくれたり、声をかけて  
くれるだけでもとても嬉しかったです。この場をかり  
て、お礼を言わせてください。本当にありがとうご  
ざいました！！！！

今はギプスもとれ、松葉杖なしでも歩けるよう  
になりました☆まだ、走ることはできませんが、リ  
ハビリで徐々にいろんな動きができるようになって  
きています。走れるようになったら、またみんな  
でサッカーがしたいです！！

もう少し、ご迷惑をかけるかもしれませんがどう  
ぞよろしくお願いいたします。

そして皆さん、くれぐれも足は大事にしましよ  
(笑) (茉奈)



有馬温泉禅寺。京都からも意外と簡単に  
に行けました。

### 目次:

広岡先生の随筆 ④プレゼンテーション 能力について	2
出張inつくば	3
お正月	3
近江牛を頂きました	3
RICE CAKE MAKING (MOCHI TSUKI)	4
畜産資源(裏)忘年会	4
お知らせ	5

## Life in Indonesia ①



hometown. I was born and grow up in Padang. Padang is the capital city of West Sumatera (a province of Indonesia) in Sumatera Island. It is the third largest city of Indonesia with a population more than of 300,000 people. The town is quite nice and deserves a longer visit. The main sightseeing in this city are beaches, Museum, called "Aditiawarman Museum" (a traditional Minangkabau house and featuring a good collection of antiques and cultural center), etc. Padang has some pretty beaches, the most popular ones are located south of Padang called "Padang beach". The beach are good for swimming, boating or just watching fishing boats going out in the afternoon. On Sunday, the beach are usually crowded with families and youngsters enjoying their weekly day off.

Story about my family, I have a big family with one brother and two sisters, it mean four person include me. All of my brother and my sisters were married and they have cute children.

This picture above is Indonesian Map, where the green color is West Sumatera part, my  
(to be continued... Cici)

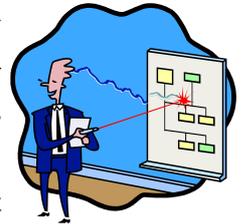
今年の京都は、底冷えを忘れてしまったようです。今朝、外に出て息が白く見えたのを珍しく感じました。過ごしやすいのは有難いことですが、四季の移ろいが崩れてしまっているのかと思うと、ちょっと恐ろしい感じもします。単なる暖冬なのか、温暖化の影響もあるのでしょうか。世間では、世界の終末を予言する映画や本が話題を呼んでいます。楽観的過ぎるのも困りますが、厭世的にならないように元気に毎日を過ごしたいですね☆。

## 好評連載 広岡先生の随筆

### ③プレゼンテーション能力について



最近、若手の学会での発表を促す目的で、若手を対象としたプレゼンテーション賞を設けている学会が多い。私の属している日本畜産学会をはじめ、システム農学会、肉用牛研究会、動物遺伝育種学会などほとんどの学会がプレゼンテーション賞を設けている。実は、私は長い間、この方向には反対であった。実際、理事をしているシステム農学会では理事



会でずっと反対してきた。その理由は、研究の評価は、本来、その分野の専門家である厳しい審査員の目を通してはじめて決まるもので、一度の発表のみでその研究を評価できず、スライドのカラフルさや芸術性に評価の力点がおかれて、本質的な研究内容が過小評価される恐れがあると感じたからである。とくに、審査員がさまざまな分野の人で構成された場合、そのようになる傾向が強くなると思ったからである。その結果、地道な研究よりもその場しのぎの研究が横行し、若手がいかにうまく発表するかプレゼンテーション能力の向上にしを削るようになって、将来に対して大きな弊害を残すことになると思ったからである。

そもそも私は、若い時から、学会での発表は、投稿前の論文内容に対して他人の意見を聞くことと、自分の行っている研究のアピール、さらには職探しのための道具と考えてきた。実際、学会は、重要な場で、特に発表後の懇親会は、いろいろな研究者と話をし、率直な意見を聞き、親交を温める場と考えていた。プレゼンテーション能力は、重要でないとはいわないが、研究内容が自分と関連のある分野の専門家に伝わればそれでよいと考えてきた。

今も、この考えは変わっておらず、今後も私はこの姿勢を貫こうと思う。研究の評価は、掲載された論文によって決まるものである。しかしながら、若い学生諸君は、いまやこの考え方は、どこでも通用するものでないと思えるべきである。それは、学生諸君の人事の場で、しばしばプレゼンテーション能力が問われるようになってきたからである。特にここ数年は、面接の際に、プレゼンテーションが要求されることが多くなってきた。いくら素晴らしい研究を行い、業績を積み上げても、面接でのプレゼンテーション能力の善し悪しが最終結果に直結するのであれば、プレゼンテーション能力は最も重要な能力といっても過言ではない。若い学生諸君においては、研究職を得ることが、最初の最も重要な目標である。いくら研究内容とは別といても、プレゼンテーション能力が要求されている時代にプレゼンテーション能力を磨かないのは、愚か者の所業である。

プレゼンテーション能力は、潜在的な能力でもあるが、経験と努力でいくらでも上達できるものである。われわれのゼミの加藤君は、喋るのが下手であったため、プレゼンテーションを苦手としていたが、事前に部屋を借りて、実際にスライドの前に立って練習をした結果、本番の学会では、練習の最初とは比べ物にならないほどの上手な発表をすることができた。それを見て、これほど努力の効果があるものはないと驚いてしまった。プレゼンテーション能力は、まちがいに練習で向上できる。

しかし、われわれの研究室では、現在、発表形式はレジメが中心で、パワーポイントの利用は、学会発表のための練習など限定的である。他の研究室では、発表はいまやパワーポイントを使ったものが中心で、専門の人のみを相手にするのではなく、他の分野の人にもいかに分かりやすく研究内容を伝えるかのノウハウの指導が盛んに行われていると聞く。いま、世の中でレジメでの発表かパワーポイントでの発表かどちらのプレゼンテーション能力が必要とされているかを十分考える必要がある。その点が心配でならない。

広岡博之

## 出張inつくば

1月の最終週、つくばの畜産草地研究所に出張してきました。つくばへは今回が2度目の出張で、前回(昨年10月)に引き続き、自身の研究に関連する遺伝子のタイピングを行うことが目的です。来年度からの就職先でもあり、研究所の人たちとは学会等で何回もお会いしているので、よそに来たという感覚はなく、いつもの自分の研究室に行くような感覚でした。

つくばと言えば、なにか思いつくものがあるでしょうか？僕は何もなかったのですが、本当に何も無い田舎でした。来年度僕が就職する研究室の方々は、週2で飲み会をしているらしく、僕も実験が終わるとそこに参加させていただきましたが、田舎なので、帰りの最終バスはとうになく、宿泊していた施設まで約3kmも歩く羽目になりました。僕にとっては遠いのですが、つくば

の人にとっては普通らしく、だいぶ感覚の違いがありそうです。寮は研究所から10km弱あるようで、通えるか不安です。なかにはそこから自転車通勤する強者も存在するようですが…。

本題の実験では、1週間で1000個体、3つの遺伝子についてタイピングするのが目標だったので、毎日ひたすらPCRとシークエンスを繰り返す単純な作業でしたが、修士以降、実験から遠ざかっていたこともあり、ミスをするが多々ありました。一緒に実験を手伝ってくださった人は「単純作業でも技術が安定するのに1年掛かった」と仰っており、改めて実験の難しさを実感させられました。結局、目標の7割ほどしかできず、後はつくばの研究员さんに任せることになりました…残念。(記者N)

## おまけ

帰学するため、1月29日の正午過ぎにつくばを出たのですが、東京駅に着くと東海道新幹線がまさかの運行停止。原因は電線の故障らしく、すぐに復旧するだろうと最初は楽観視していましたが、復旧したのは5時半くらいで、東京駅で三時間も待たされる羽目に…。復旧して、やっと乗車しても一気に多くの新幹線が出発したため、すぐに前がつかえて緊急停車の繰り返しでした。結局、京都に着いたのは予定の4時間半遅れで、しかも東京→名古屋間は人数が多く、3時間立ちっぱなしという散々な1日でした。トラブルによる新幹線の停止は時々、耳にしますが、まさか自分がそうなるうとは…。

(記者N)



## お正月

皆さん、お正月はどんな風に過ごしましたか??

女子メンバーでお昼ごはんを食べているとき、お正月料理の話になり。。



お雑煮は地域によって、お餅の形や焼き方、汁は味噌仕立てにおすまし、具もさまざま

なんですなー。

我が家は毎年2種類のお雑煮を食べます。まず元日は兵庫出身の父の方のお雑煮で、おすまし仕立ての汁に焼いた角餅、雑煮大根(直径2~3cmの細い大根)、三つ葉、じゅんさい、なるとかまぼこが入っています。関西では白味噌が多いといわれますが、なぜかおすましです。じゅんさいを入れるのは珍しいのではないかなーと思います。小さい頃はこのじゅんさいのニルニルが嫌いでしたが、縁起物だからと無理やり食べさせられていました(笑)

1月2日のお雑煮は和歌山出身の母の方のお雑煮で、白味噌仕立てのお汁に、煮た丸餅、雑煮大根と里芋が入っています。青いもの

がまったく入らないので色合いはよくないのですが、私はこちらのお雑煮が好きで3日からは白味噌のお雑煮を食べることが多いです。

沖縄のお正月は本土とはちがい、おせち料理やお雑煮といったものはないようです。また、今でも南部のほうでは旧正月のほうを盛大にお祝いする習慣が残っています。お正月に食べるものとして一般的なのは豚の内臓を使った中身汁や昆布の炒め物クーブイリチーです。そのほかにも、大きな紅白のかまぼこ、豚の三枚肉の煮付けや塩付け肉(スーチャー)、田芋(里芋のような粘りの強い芋)、イカや魚のてんぷら(衣が分厚い)などを食べますが、これらは他のお祝い行事でも食べます。その他、いなむどうちという甘めの白味噌汁を食べる家庭もあると聞いたことがあります。

ほんとにところ変われば、食べ物もガラッと変わるんですね!! 皆さんの家のお正月料理はどんなだったのでしょうか?? もう2月に入ってしまったのですが、今度教えてくださいーい☆

そうそう! 香川のお雑煮にはあんこ餅が入っているそうですよ!!

(茉奈)



## 近江牛を頂きました

卒論の追い込み厳しいある日、滋賀県への出張から戻られた広岡先生が、近江牛の高級お肉をお土産に買ってきてくださいました。冷凍にしてしまうのはもったいないけれど、この忙しい時期に研究室の宴会も憚られ、「さっと焼いて食べちゃおうか」という鶴の一声に、早速フライパンを取り出して、お手軽焼肉。美味しそうな匂いは部屋中に充満し、焼き立てお肉を次々に立食でほおぼりました。美味しかったです☆ご馳走様でした。

## RICE CAKE MAKING (MOCHI TSUKI)

Rice cake or **Mochi** (餅) is a Japanese rice cake made from glutinous rice pounded into paste and molded into shape. In Japan it is traditionally made in a ceremony called *mochitsuki*. While also eaten year-round, mochi is a traditional food for the Japanese New Year and is commonly sold and eaten during that time.



On January 14, 2010, me and my lab mate have attended the the third rice cake making (*mochitsuki*) event were held by Graduate School of Agriculture, Kyoto University. Many staff,

Japanese students and Foreigner students have participated and looks enjoyed this event .

This is the first time I saw how to make the rice cake directly, it was so interesting. Firstly, steamed the glutinous rice, then the steamed rice



pounded with wooden mallets (*kine*) in a traditional mortar (*usu*). Two people will alternate the work, one pounding and the other turning and wetting or spread the water on his hand into the mochi. They must

keep a steady rhythm or they may accidentally injure one another with the heavy *kine*. Repeat until the rice becomes a smooth or dough-like. The last step is the sticky mass then formed into various shapes by hand (usually into a ball or cube). Finally the rice cake (*mochi*) are ready eaten with soybean paste (*anko*), soup, soybean flour (*kinoko*), etc.

Mmmm...*Oishikatta*...I hope I can attend this event again for the next time...^\_^



(Cici)

## 畜産資源(裏)忘年会

昨年末、特に理由はありますが、広岡先生からの熱烈な希望により、おとしに卒業した菊原と大石先生と僕の4人での飲み会が開催されました！菊原と僕は腐れ縁で、高校から大学院までずっと同じように進学してきたのですが、菊原が卒業してからはなぜか(?)連絡を取り合うこともなく、今回久しぶりに再会しました。きっかけを与えてくださった、広岡先生ありがとうございます。

せっかく久しぶりに再会するのだから、「安くて美味しい店を見つけておいてくれ」という広岡先生の無茶振りに応えるため、三条にある町屋風居酒屋に行ってきた。店名は忘れましたが、三条木屋町ビルの隣で、京風野菜の美味しいお店です。僕はお気に入りのお店なのですが、参加メンバーは肉好きだということをおぼれていたの、彼らのお口に合ったかは…。

さて、飲み会の話題は、やはり菊原の社会人になってからの

生活と研究室の現状で盛り上がりました。菊原は研究室に在籍時、週に2、3回しか登校してこないレアキャラでしたが、会社に入ってもしっかり有休を取って、2ヶ月に1回以上帰省するという相変わらずの「箱入り息子」ぶりで面白かったです。(そんなに奈良に帰省してるならたまには研究室に来いよ。)研究室の話題では、この2、3年でメンバーが増えたことに驚いていたようですが、いつもの研究室でみんなが話しているような雑談を楽しみました。お支払いは、年功序列で広岡先生、大石先生と沢山出していただきました。ありがとうございます。さらに、今回は、前回の飲み会で社会人にも関わらずお金を払わずに退席した菊原もめずらしくお金を払ってくれました。

研究室を卒業された方と飲む機会は年に何回かありますが、来年は自分も研究室を去るので、たまには帰ってきてお酒を飲みたいですね！

(記者N)

Department of Animal Husbandry  
Resources, Kyoto University,  
Faculty of Agriculture  
Oiwakekyo, Kitashirakawa,  
Sakyo-ku Kyoto 606-8502 Japan

電話 075(753)6365

FAX 075(753)6365

http://www.animprod.kais.kyoto-u.ac.jp/

GOAT BULLETIN



畜産資源学研究室

GOAT BULLETINは、皆様の投稿記事で成り立っています。形式・文字数は問いません。また、読者の方々からのご意見やお問い合わせも大歓迎です。下記のアドレスまでどしどし送信してください。

E-mail: [yoko3t@kais.kyoto-u.ac.jp](mailto:yoko3t@kais.kyoto-u.ac.jp)

## お知らせ

### 今月のゼミ

今月のゼミは、

2月4日(木) 木村(知)・児嶋 (修論発表会) 10:30-

2月9日(火) 荒木・石田・木村(悠)・中川(靖)(卒論発表会) 14:45-  
の予定です。教室はE-103です。変更等は、随時お知らせします。

ゼミ係

### 今月のイベント

イベント係りでは、2月3週目に『修士論文、卒業論文打ち上げ』を予定しています。亀岡牛も登場予定です。日程は、現在調整中ですので、決まり次第連絡します。お楽しみに~☆  
イベント係り

### 研究室の動向

2月9~10日に応用生物科学専攻の修士論文発表会(畜資は10日)、16~17日に卒業論文のポスター発表が行われます。熊谷先生の嗜好性試験が2月15~20日に京都大学附属牧場で実施されます。この期間、実験手伝い予定の皆さんは、朝8時に研究室集合となりますので、日程を確認の上遅れないように準備して下さい。2月23日から熊谷先生と酒井君(M1)がネパールへ研究出張に出かけます。

### 今月のお誕生日会

2月と3月のお誕生日会は、合同で行われることになりました♪2月は木村さん(M2)、3月は加藤くん(M1)、木村くん(B4)です。リクエストは今のところ、シフォンケーキとレアチーズケーキを受け付けました☆日時は追ってお知らせします♪

イベント係り

## 2010年 2月の飼育当番表

日	月	火	水	木	金	土
1/31	1	2	3 石田・木村(悠) 体重測定⑥	4	5	6
7	8	9	10 塚原・酒井・中川 (靖)体重測定⑥	11 建国記念日	12	13
14	15	16	17 スリタ・荒木 体重測定⑥	18	19	20
21	22	23	24 イクバル・加藤 体重測定⑥	25	26	27
28	3/1	2	3	4	5	6

**編集後記** 研究室が一番忙しくなる時期がやってきました。修論・卒論に取り組んでいる皆さん、あと一息です。来春の就職を考えている皆さんは、そろそろ就活が始まったようですね。スーツ姿が眩しい今日この頃です。卒論・修論の発表会が終わると、卒業旅行、送別会、学会、転居などで研究室が落ち着かなくなります。忙しさを体調を崩さないように、健康第一で楽しい学生生活を送りましょうね♪